2013年度 第2四半期(中間)決算の概要

2013年10月28日 コマツ 取締役(兼)専務執行役員 CFO 藤塚 主夫



2013年度 上期 (4~9月) の概況

1. 売上・損益

- ・連結売上高は前年同期比▲0.6%減収の9.251億円、営業利益は同▲2.1%減益の1.089億円。
- ・四半期純利益は+19.2%増益の788億円。

	2012年4~9月 (2012年度 上期)	2013年4~9月 (2013年度 上期)	前年同期比
連結売上高	9,308 億円	9,251 億円	▲ 0.6 %
営業利益	1,112 億円	1,089 億円	▲ 2.1 %
売上高営業利益率	12.0 %	11.8 %	▲ 0.2ポイント
四半期純利益*	661 億円	788 億円	+19.2 %

^{*} 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する四半期純利益」

2. 各セグメントの状況

■ 建設機械·車両:

・資源価格が依然低迷する中での鉱山機械の需要減を、堅調な日本や、回復に転じた中国における一般建機 の販売数量増等で補ったものの、売上高は前年同期比▲1.1%の減収。セグメント利益は同▲3.5%の減益。

■ 産業機械他:

- ・大型プレス等の板金鍛圧機械や、工作機械の販売は堅調で、増収増益。
- ・売上高セグメント利益率も1.4ポイント改善して4.8%。

3. 中間配当金: 29円(前中間期:24円)

(注) 本資料では第2四半期累計(4~9月)を「上期」と表示します。



2013年度 第2四半期(7~9月)の連結売上高と損益

・鉱山機械の需要減を、日本、中国の一般建機需要や、堅調な自動車業界向け産業機械の販売数量増によりカバーし、売上高は前年同四半期比+2.0%増収の4.699億円。

・純利益は前年同四半期比+22.2%増益の415億円。

	%:利益率 ():外部顧客向け売上	高	金額単位:億円			
	2012年7~9月 (2012年度/2Q) 1ドル=78.7円	2013年7~9月 (2013年度/2Q) 1ドル= 98.6円 1ユーロ= 129.9円	前年同四	半期比			
	1ユーロ=98.3円 1元=12.4円	1元= 16.1円	増減	増減率			
売上高	4,609	4,699	+90	+2.0%			
- 建設機械·車両 - 産業機械他	(4,087) 4,093 (521) 541	(4,128) 4,134 (570) 592	(+41) +40 (+49) +51	(+1.0%) +1.0% (+9.5%) +9.4%			
- 消去	▲25	▲26	▲1	_			
セグメント利益	12.2% 560	12.0% 565	+5	+0.9%			
- 建設機械·車両 - 産業機械他	13.5% 553 9	12.9% 6.7% 531 39	▲21 +30	▲ 4.0% +330.8%			
- 消去または全社	▲2	▲ 6	▲3	_			
その他の営業収益(▲費用)	▲4	▲0	+4	-			
営業利益	12.1% 555	12.0% 565	+9	+1.8%			
その他の収益(▲費用)	▲14	43	+57	-			
税引前四半期純利益	541	608	+67	+12.4%			
四半期純利益*	339	415	+75	+22.2%			

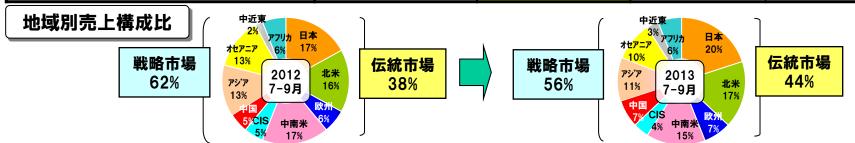
^{*} 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する四半期純利益」



<建設機械・車両> 2013年度 第2四半期(7~9月)の売上高内訳

・鉱山機械の需要減少に伴いオセアニア、中南米、インドネシアを中心とするアジアの売上が減少したものの、好調な日本、回復に転じた中国等の売上増により、全体で前年同四半期比+1.0%増収の4.128億円。

(金額単位:億円)	2012年 7~9月	2013年 7~9月	前年同四半期比	
`	TE 11/4-1- 177 - 1621 2 /	2012年 7~9月 (2012年度/20)	2013年 7~9月 (2013年度/2Q)	増 減	増減率
	日本	698	835	+137	+19.6%
伝統市場	北米	639	706	+67	+10.5%
	欧州	230	267	+37	+16.1%
	中南米	693	616	▲ 77	▲11.2%
	CIS	192	172	▲20	▲10.6%
	中国	217	313	+95	+43.8%
戦略市場	アジア	524	439	▲ 84	▲16.1%
	オセアニア	548	397	▲ 150	▲27.5%
	中近東	90	136	+45	+50.2%
	アフリカ	251	243	▲ 8	▲3.2%
合計		4,087	4,128	+41	+1.0%
		1,633	1,192	▲ 441	▲27.0%





2013年度 上期(4~9月)の連結売上高と損益

5

・資源価格の回復遅れによる鉱山機械の需要減を、堅調な日本や回復に転じた中国等の一般建機ならびに自動車業界向け産業機械の販売数量増等で補ったものの、連結売上高は前年同期比▲0.6%減収の9,251億円、営業利益は同▲2.1%減益の1.089億円。

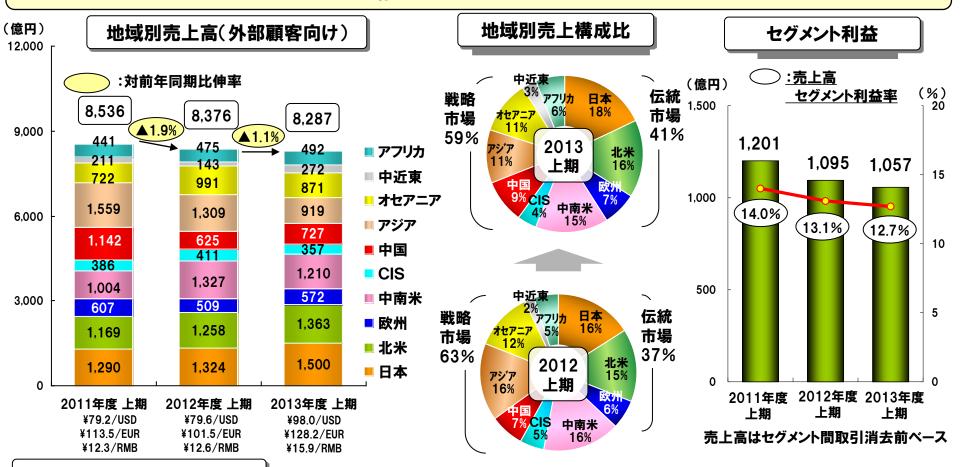
並は円▲2.1%桝並り1,009億円。								
	%:利益率 ()	:外部顧客向け売上高	金額単位:億					
	2012年4~9月 (2012年度/上) 1ドル=79.6円	2013年4~9月(2013年度/上) 1ドル=98.0円	前年同期比					
	1ユーロ=101.5円 1元=12.6円	1ユーロ=128.2円 1元=15.9円	増減	増減率				
売上高	9,308	9,251	▲ 57	▲0.6%				
- 建設機械·車両 - 産業機械他	(8,376) 8,391 (931) 971	(8,287) 8,300 (963) 995	(▲88) ▲90 (+31) +24	(1.1 %) 1.1 % (+3.4%) +2.5%				
- 消去	▲ 55	▲45	+9	_				
セグメント利益	1,112	11.8% 1,090	▲ 21	▲2.0 %				
- 建設機械·車両 - 産業機械他	13.1% 3.4% 1,095 33	1,057 4.8% 1,057 48	▲ 37 +15	▲ 3.5% +45.7%				
- 消去または全社	▲16	▲15	+0	_				
その他の営業収益(▲費用)	▲0	▲ 1	▲1	-				
営業利益	12.0% 1,112	11.8% 1,089	▲23	▲2.1 %				
その他の収益(▲費用)	▲ 58	35	+93	-				
税引前四半期純利益	1,053	1,124	+70	+6.7%				
四半期純利益*	661	788	+126	+19.2%				
1株当たり配当金(円)	24円	29円	+5円					

^{*} 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する四半期純利益」

KOMATSU

<建設機械・車両> 2013年度 上期 地域別売上高とセグメント利益

- ・鉱山機械の需要減に伴いオセアニア、中南米、アジアの構成比が減少し、伝統市場の比率が増大。
- ・セグメント利益率は前年同期並みの水準を維持。

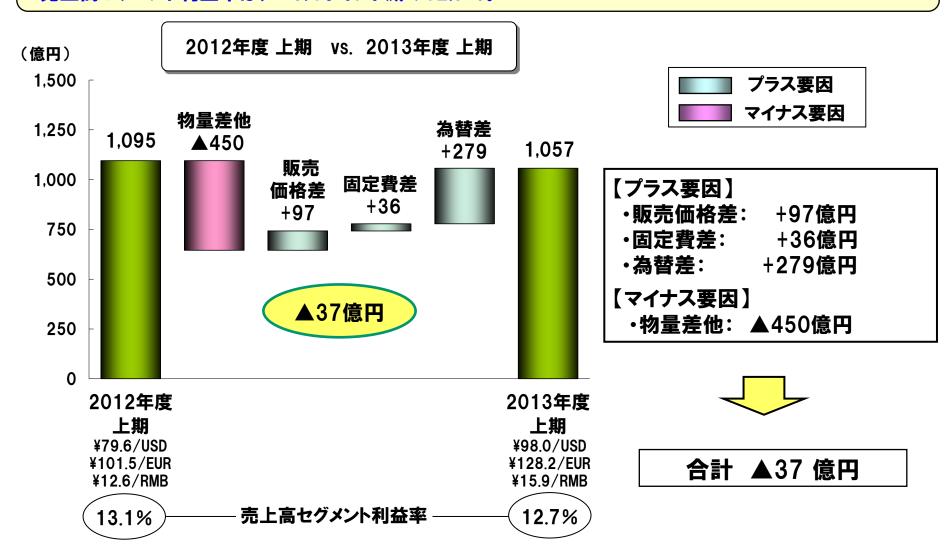


売上高伸率(前年同期比)

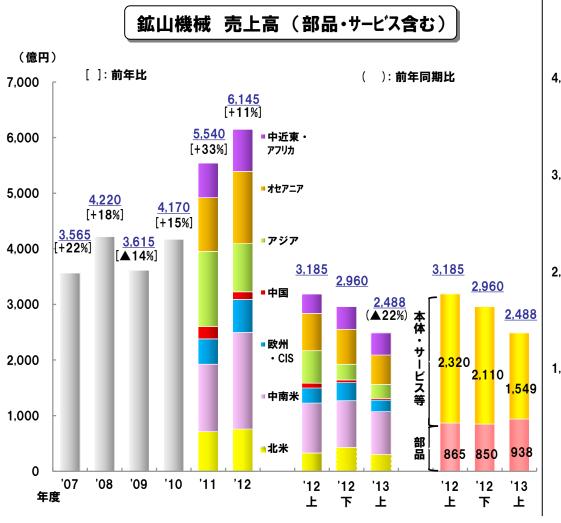
	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2012年度上期	+2.6%	+7.6%	▲16.1%	+32.1%	+6.7%	▲ 45.3%	▲16.1%	+37.4%	▲32.2%	+7.5%	▲1.9%
2013年度上期	+13.3%	+8.3%	+12.3%	▲8.8%	▲13.2 %	+16.4%	▲29.8%	▲12.1 %	+90.4%	+3.6%	▲1.1%

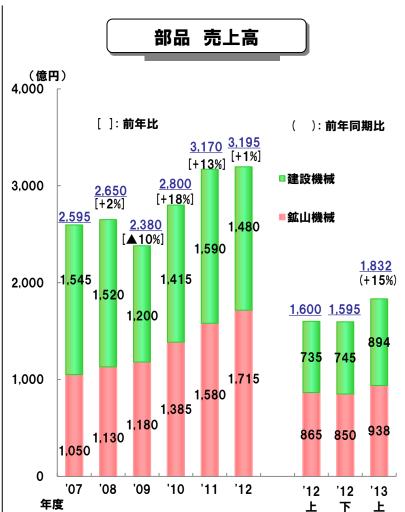
<建設機械・車両> 2013年度上期 セグメント利益の増減要因

- ・需要・販売の減による物量差他▲450億円に対して、価格差、固定費差、為替差の増益要因があったが、ネットでは▲37億円の減益。
- ・売上高セグメント利益率は、▲0.4ポイント減の12.7%。



- 8
- ・上期の鉱山機械売上高は、資源価格が回復せず需要が低調に推移した結果、前年同期比▲22%減。
- ・上期の部品売上高は配車台数の増加により引き続き伸長。前年同期比+15%増の1,832億円。





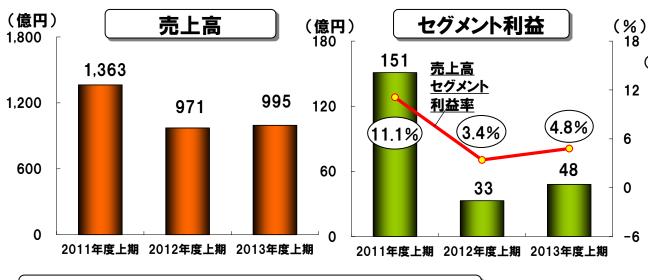
受注の状況

9



<産業機械他> 売上高とセグメント利益

- ・大型プレス等の板金鍛圧機械や、工作機械の販売は堅調で、増収増益。
- ・売上高セグメント利益率も1.4ポイント改善して4.8%。



売上高の内訳 (2012年度上期 vs. 2013年度上期)

金額単	位:	億	円
-----	----	---	---

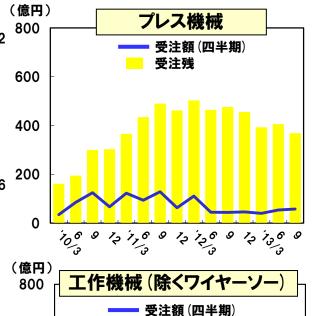
600

400

200

0

	2012年度上期	2013年度上期	増 減
コマツ産機等 (板金鍛圧事業合計)	219	259	+39
コマツNTC [うち、ワイヤーソー]	347 [36]	331 [25]	▲16 [▲11]
その他 [うち、ギガフォトン] [うち、コマツハウス]	405 [111] [75]	405 [106] [81]	0 [▲ 5] [+5]
合 計	971	995	+24



受注残

1000 2700 2700 2700

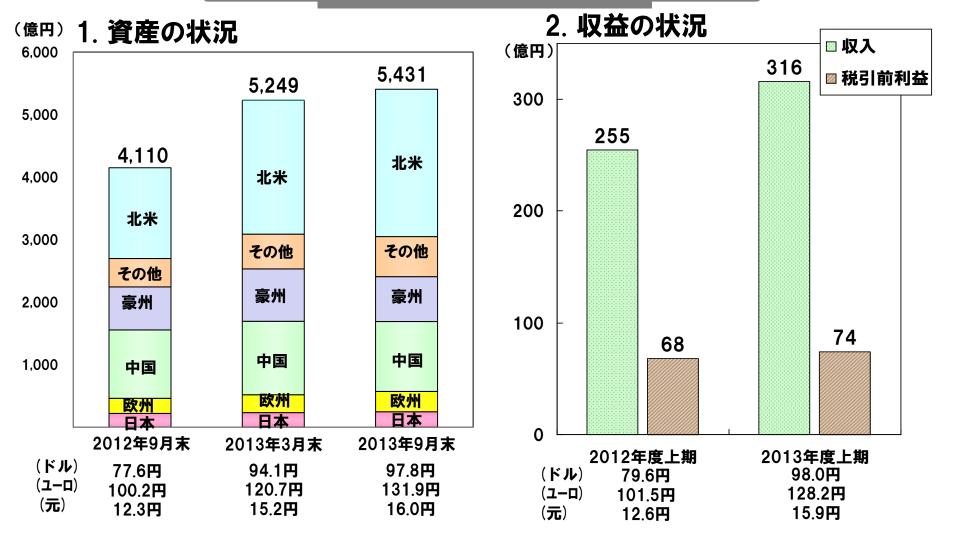


リテールファイナンスの状況

(10)

- ・資産は円安の影響に加え、北米等で新規取扱が増えたこと等により前年度末比で若干増加。
- ・収入・税引前利益は、前年同期比で増収増益。







連結貸借対照表

(11)

- ・総資産は、為替レートが円安になったこと等により前年度末比で+288億円増加。
- ・株主資本比率は+2.8ポイント増の50.2%。ネットD/Eレシオは0.41と、前年度末に比べ改善。

	金額単位: 億円	2013年3月末 1ドル=94.1円 1ユーロ=120.7円 1元=15.2円	2013年9月末 1ドル=97.8円 1ユーロ=131.9円 1元=16.0円	前期末比 増 減
	・現金・預金(含む定期預金) [a] 受取手形・売掛金(含む長期売上債権) <除くリテールファイナンス会社> 棚卸資産	938 8,427 <4,143> 6,336	920 7,867 <3,548> 6,799	▲17 ▲560 <▲594> +462
	有形固定資産 その他資産	5,852 3,624	6,160 3,719	+307 +95
	資産合計	25,178	25,466	+288
	支払手形・買掛金	2,262	2,345	+82
	借入金·社債 [b]	6,797	6,208	▲ 588
	<除くリテールファイナンス会社>	<2,981>	<2,308>	<▲673>
	その他の負債	3,591	3,535	▲ 55
	負債合計	12,651	12,089	▲ 562
•	(株主資本比率) 株主資本	(47.4%) 11,931	(50.2%)	(+2.8ポイント) +852
•	非支配持分	595	592	▲2
	負債及び純資産合計	25,178	25,466	+288
	ネットベースの借入金・社債 [b-a]	0.49 5,859	0.41 5,288	▲ 570
	ネットD/Eレシオ (リテールファイナンス会社を除いた場合)	0.20	0.13	



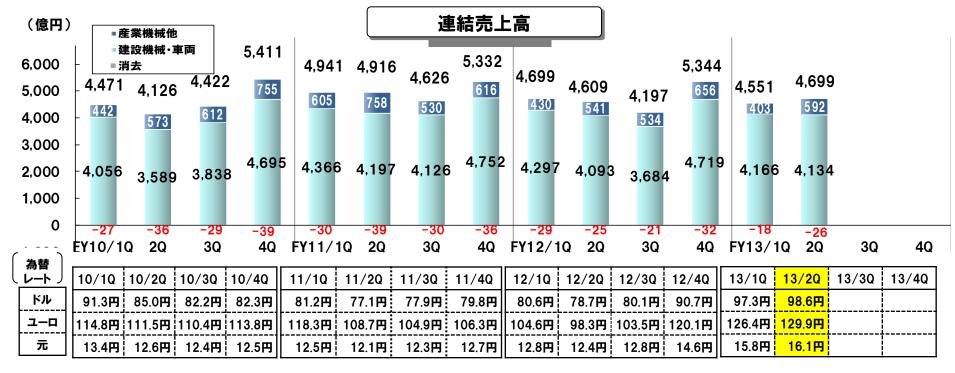
(12)

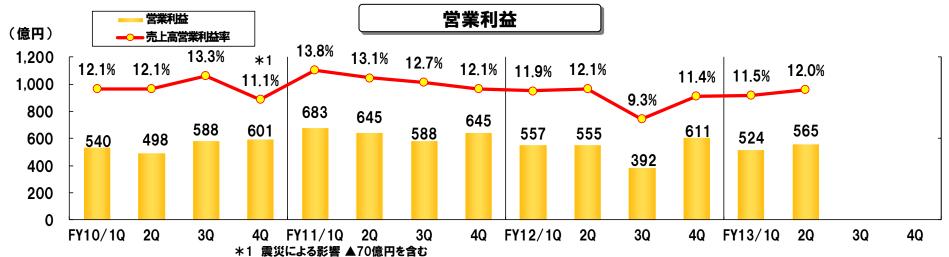
<資料>

2013年度第2四半期(中間)決算の概要

13)

四半期毎の連結売上高と営業利益の推移





KOMATSU

ドル

ユーロ

元

91.3円 85.0円

114.8円 111.5円 110.4円 113.8円

13.4円 12.6円 12.4円 12.5円

82.2円 82.3円

81.2円

12.5円

77.1円

12.1円:

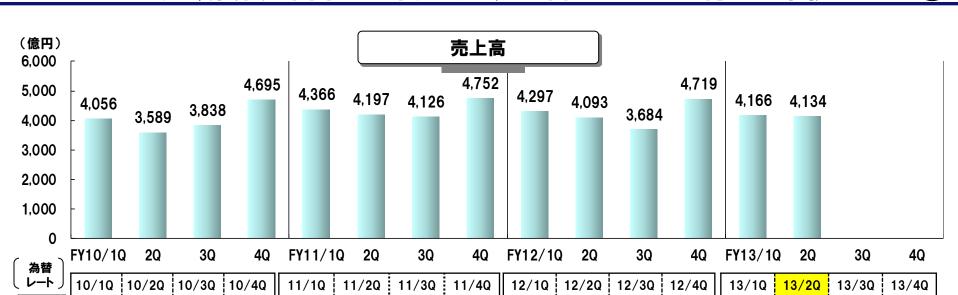
118.3円 108.7円 104.9円 106.3円

【参考資料】

2013年度第2四半期(中間)決算の概要

14

<建設機械・車両>四半期毎の売上高とセグメント利益の推移



80.6円

104.6円

78.7円

80.1円

98.3円 103.5円 120.1円

12.8円 12.4円 12.8円 14.6円

90.7円

97.3円

126.4円

15.8円

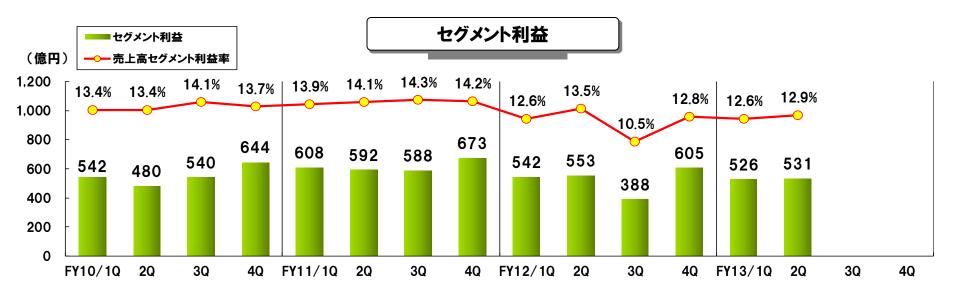
98.6円

129.9円

16.1円

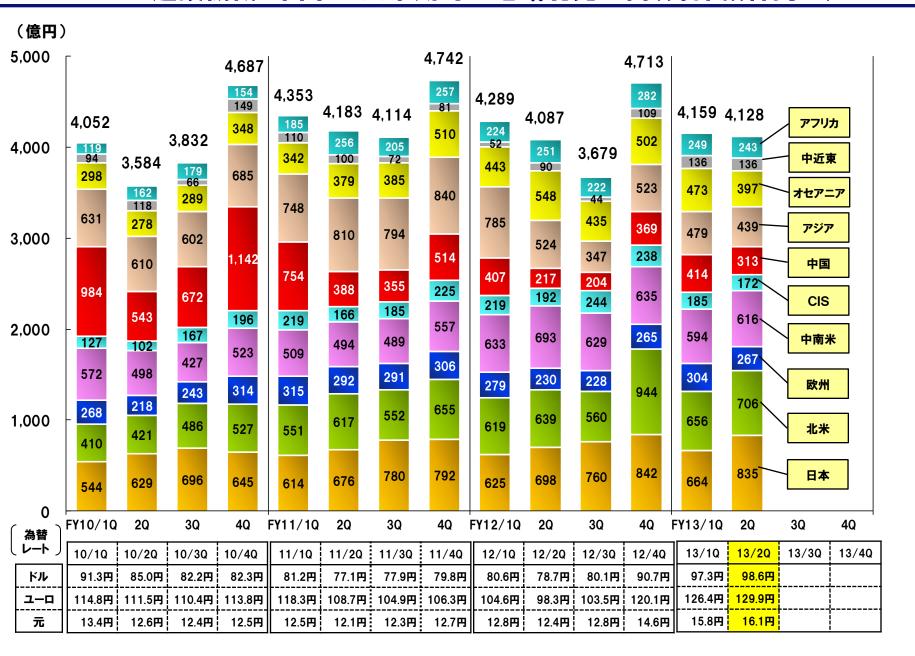
77.9円 79.8円

12.3円 12.7円



<建設機械・車両> 四半期毎の地域別売上高(外部顧客向け)

(15)



KOMATSU

【参考資料】

2013年度第2四半期(中間)決算の概要

16)

<産業機械他> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

